

武漢事務所便り週間新聞記事報告 13号 2011.7.2 - 2011.7.8

2011年7月8日付け「荆楚ネット」より

武漢は百億元（1,300億円）で知音の町を建設

これから5年以内に、武漢の西部にエコで住みやすい新しい町が誕生する。それは武漢、「中国の知音の街」である。昨日午前、中国知音都市プロジェクトは蔡甸区において定礎式典を行い、阮成發共産党武漢市委員会書記、唐良智武漢市長などの市リーダーが式典に出席した。

武漢、中国知音の街は武漢後官湖エコの街の中心地域であり、同プロジェクトの計画敷地面積は22.8平方キロメートルで、東は漢陽区、西は北京-珠海高速道路、北は武漢-蔡甸高速道路、南は馬鞍山に接し、実際土地利用面積は約333ヘクタールで、蔡甸区の新天、鉄鋪、新農、紅廟を処地にして、5年以内に竣工することを目指す。

中国知音の街は武漢市「1+6」都市建設構造の重要な一部となり、ここには高消費層向けの商業総合体、商業歩行者天国および五つ星高級ホテルを建設し、高級知的人材向けの湖沿いの高級住宅地を作る予定だ。また知音の物語を中心に知音の文化公園、国学館、エコ旅行区などの建設および近くにある長江大学の学術資源により緑の知的創業区を建設する見込みである。

2011年7月8日付け「荆楚ネット」により

武漢公衆レンタサイクルの新しい賃借システムが施行

昨日、武漢市都市管理局および鑫飛達公司是共同声明を発表し、今日から今月10日まで、システム調整のため、公衆レンタサイクルの各レンタルステーションが3日間休業することになる。11日から新システムが施行される予定。

武漢市の公衆レンタサイクルは独特な武漢モデルで全国的に有名になったが、二年間の運営中、借りた自転車を時間どおりに返さず、自分の自転車として使う現象が目立つ。新システムが供用されるとこの状況が改善される見込みである。

今日から今まで使われていたレンタルカード「誠信カード」はバージョンアップが必要になる。使用者は身分証明書をもって各申請機関にて申請書に記入するか、または「武漢

公衆レンタサイクルカード契約書」に署名、保証金 300 元（約 3,900 円）を支払う必要がある。他の地域の人には 400 元の保証金が必要となる。誠信カードを失くした際にはすぐに紛失届けを出さなければならない。

関係者によると、誠信カードを解約するときは 300 元（約 3,900 円）の保証金も使用者に返金される。

武漢市の公衆レンタサイクルシステムは 8 月末にレンタルステーション 100 ヲ所、10 月未まで自転車 2 万輪増設する予定。今月末、90%以上のステーションは通電され、各ステーション警察 1 人が管理するという管理者指定の制度も導入されている。